

2018年6月29日
日本生命保険相互会社

チリでの銅鉱山向け海水淡水化プラント建設・運営プロジェクトへの融資について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、この度、三井物産株式会社（社長：安永竜夫、以下「三井物産」）およびスペイン ACS グループ傘下 Cobra 水部門 Técnicas de Desalinización de Aguas, S.A. 社（以下「テダグア社」）が折半出資により設立した共同事業者である Caitan SpA 社（以下「カイトン社」）の推進するチリ共和国アントファガスタ州における海水淡水化プラント建設・運営プロジェクト（以下「当プロジェクト」）への約 33.5 百万米ドル（約 36 億円）のシンジケートローン（以下「当融資」）を実行しました。なお、チリでのプロジェクトへの融資は当社初となり、当社はシンジケートローンの組成段階から参加します。

当プロジェクトは、南太平洋に面したプラントにて海水の淡水化により銅鉱山の操業に必要な大量の水を造り、約 150 キロメートルのパイプラインを通じて供給するものであり、水不足が慢性的な課題となっているチリ北部地域における安定的な銅生産の継続・拡大に貢献できると考えています。

また、当融資は、長期間にわたって魅力的な利回り獲得が期待できることに加え、チリの中心的産業である銅鉱業の発展に寄与すると考えています。

なお、当社は中期経営計画「全・進-next stage-」（2017-2020）において、4年で2兆円の成長・新規領域への投融資を目指しており、海外プロジェクトファイナンスである当融資もその一つと位置付けています。

今後も、社会公共性・投資採算性をふまえ、海外プロジェクトファイナンスをはじめとする成長・新規領域への投融資を強化することで、ご契約者利益の一層の拡大に努めるとともに国内外の経済・産業発展に寄与してまいります。

<案件概要>

企業名	Caitan SpA (カイトン社) (三井物産 50%出資 ・Cobra グループ 50%出資)
調印日	2018年6月8日
当社融資額	約 33.5 百万米ドル (約 36 億円)

<施設概要>

所在地	チリ共和国アントファガスタ州メヒヨネス
プラント面積	9.9 ヘクタール
主要施設	海水淡水化プラント、給水パイプライン、海水取水排水トンネル
造水能力	8,640 万リットル/日
竣工	2020年4月 (予定)
プロジェクト終了	2040年4月 (予定)

<海水淡水化プラント所在地>



(出典：三井物産)